

1. 基本情報（令和5年4月1日現在）

人口	49,576人	保護率	2.68%
----	---------	-----	-------

2. 支援状況（令和3年度）

新規相談受付件数	182件	15.1件/月			
プラン作成件数	10件	0.8件/月			
就労支援対象者数	6件	0.5件/月			
就労・増収率（%）	50%				
任意事業等の実施状況（令和5年度（予定））					
支援会議	就労準備	家計改善	シェルター	地域居住	子ども
○	○	○	×	×	○

3. 事業の概要等（令和5年度）

実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 委託（社会福祉法人なごみの郷） 被保護者向け事業と一体的に実施している。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 就労準備支援担当者3名を配置。（常勤換算1.7名） 事業所内において個別面談、PC講習、就労体験、ボランティア活動等様々なメニューを実施
事業費	6,056千円（困窮：2,019千円、被保護：4,037千円）
その他特記事項	重層的体制整備事業の参加支援やひきこもり支援ステーション事業の居場所づくり事業、当事者会・家族会開催事業等も同事業所で実施することで対象者を広く拾い上げ、自立に向けた支援が出来るようにしている。

4. 事業の立ち上げプロセス

開始前

- 事業についての知識が乏しく、必要性やニーズも把握できていなかったが国の「専門スタッフによるコンサルタントサービス」の案内があり、R2年度に利用することにした。
- コンサルタントから事業内容や先進地事例を学んだことで、事業の必要性を感じ、立ち上げに向けた検討・準備を進めることになった。

ニーズ把握
【11ヶ月前】

- 自立相談支援機関や生活保護担当課に対象者の洗い出しを依頼し、想定される利用者数を確認した。
- 対象者数を確認した結果、困窮のみでは利用者が少ないことが分かり、被保護者向け事業及び重層的体制整備事業の参加支援と一体的に実施することを決定した。

委託先の検討
【11ヶ月前】

- 委託先については、市内の障害福祉サービス事業所のうち、就労系のサービスを実施しており、過去に就労準備支援事業の経験がありノウハウのある職員を配置している事業所に委託することを検討。

実施場所の検討
【9ヶ月前】

- 実施場所として、利用者の通所しやすい場所に設置するため、市内の福祉施設の活用を検討

関係機関との調整
【1ヶ月前】

- 必要な方が事業に繋がるよう、自立相談支援機関や総合相談窓口など、関係機関への周知、事業の流れの説明を行った。

令和4年7月 事業開始

事業実施

- 令和4年7月～令和5年3月実績
- （生活困窮者）：利用者1名、就職者0名、就労支援へ繋いだ者：0名
- （被保護者）：利用者5名、就職者1名、就労支援へ繋いだ者：0名
- ・効果 これまで自立相談支援機関等の関わりだけでは支援が難しかった者が、就労準備を利用することで社会との繋がりが持て、就労に向けたきめ細やかな支援が可能となっている。